磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31 355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

各種印刷ノ御用命ハ是非
事務用印刷物
チラシ・機関紙
長瀬印刷所
小名浜町 電219

漁業経営と労力の調査

角田助教授ら来る

小名浜を中心に十日間行う

大平洋側の東北海区に於ける沿岸並に沖合漁業は最近益々経営不振となつている、との問題は漁業經營者のみに止まらず漁業労務者の就業 所得の点にも影響しており、そのため水産廳に於いても漁業改革の實施に伴い基礎調査を行つているが、今回小名浜町を中心として沿岸及び沖合漁業の経営、勞働事情の実態調査を來る十七日より十日間行うことになり、静岡大學文學部助教授角田豊氏外三名は水産廳の委囑により調査に來町することになつた

本調査は漁業に於ける勞働力の適正配置と經營の合理化に重点をおくものであり、その調査は漁業勞力者の年間雇傭状況、勞働力の給源、勞仂市場潜在失業、漁業經營の實際面について行われるものである

遠藤武雄氏の遺骨還る

小名浜町遺族會（会長鈴木貴義氏）では昭和二十年八月十四日中國で戰死した全町竹町故遠藤武雄氏の靈を迎え七日正午自性院に於て水野町長ほか多數臨席のもとに慰靈祭を執行した 尚十日午后一時より公民館にて役員會を開きさきに大竹知事より贈られた供物を五百八十名の遺家族に対し役員を通じて配布した

酒井氏辞退

海區調整委員

縣海區漁業調整委員選擧に立候補した相馬郡原町下澁佐酒井長太郎氏は七日双葉地方事務所に立候補辭退届を提出した、とれにより立候補者は石城＝三、双葉＝二、相馬＝四となり定員七名に對して二名の超過となつた

環境條件の測定講習會

日本水素工場

平地区産業安全衛生労災協会では去八日午前九時半より小名浜町日本水素小名浜工場に於いて作業環境條件測定の講習會を開いた

再開の平七夕

人氣呼んだ常磐の動くロマンスカー

無情の雨にたゝられた平の七夕祭は損害約三百万圓といわれ九日快晴を迎えて新たに補修装飾が一齊に施され、審査員たちは汗だくの審査に乗り出したが何しろ全戸全商店の審査なので夕刻までかゝると悲鳴を擧げている 入賞圏にあるものは、特設置物では釜屋の呑切雀、平保線区の機關車、松月堂の樂団模型、常磐交通の快走するロマンスカー等であるが、中でも常磐交通のロマンスカーは電氣仕掛で車輪の花輪が廻轉し乗客デンスケ、サザエさん等が音樂のリズムと共に顔を振り、動的効果で人氣を呼び入選確実といわれている 次に中間置物では、かみや、ナカヤ、坂本紙店の装飾が入賞するものと見られ、一般七夕では久本玉ずし、蛇の目ずし等が入賞圏にあると審査員の話、との日快晴の青空には大黒屋の眞紅の氣球、と藤越の翠緑の氣球が鮮やかに向い合つて片や七夕祭、片や中元大賣出しを標傍して空のデパート合戰に人目を奪い遲まきながら夏まつり七夕景氣をあおつていた

PTAでナトコ映寫會

平才槌小路

平市才槌小路の小学校PTAでは本十日午後七時より全町盲啞学校々庭に於いてナトコ映寫会を開く

小名浜港祭り後記 ③

如鳩

海に客
　あるうち續く
　港祭（みなとさい）

海開き以來客は絶えるとなく海岸を埋めて居る海に客のあるうちは海の町はいつも亭主の心で客をお迎えしなければならない。

その心を標識として小名浜驛頭にたかぐ＼と掲げて置く次第である。

此の標識の掲げられてある期間は誰彼の別なく當町民は、海に來る客のために心を盡して迎えなければならないわけになる『歡迎港まつり』と立派に出來て居る。しかも近代的な様式で色感もよく考案も良い、実に効果的である。

或る客は私に「歡迎港まつり」の意味をたづねた建設者側の方々には連絡をしなかつたが、私はとう答へて置いた。

「歡迎し、まつり（祭り）皆みなと共に。」の意味であると、

港祭だけを祝する場合は祝の字が大きく書かれる筈であるが、今回の場合は海に來ているお客様を主とするが故に、待り（祭り）は亭主側になつて町の人々「みなと」＝皆と＝「港」となるのであると!! 僭越の儀は了承して貰いたい。

　來る客を
　　みなと待つりを
　　迎うなり
　海をあづかる
　　小名の町民

この心で海に客のあるうち一杯を盜つて行きたいものである。

港祭当日は町一杯の客で雜沓した、其の中を徐むろに進み行くジープの窓から半身のり出して、客ごとに手を擧げ「皆さんようとそ有り難う御座います。御ゆるりと」と云いながら町中を廻わり、終りに海岸三千頓岩壁に至るまでこれを連續したこれはなか〳〵出來ない事であるが、との出来ないとをやつてのけた。客の群は感激して居た。この本人は海の守り役海上保安部長遠山武夫氏であつた。これは町民を代表した素晴しい離れ業であつたと思う。

との日は賑う小名濱の町としては最近になく凡てが行き屆いて居たようだ 海岸の方ではそれ〴〵注意もしたであろうが、第一脱衣所の設備が往年に比べて衞生的に進歩して居たし、客の接待等も比較的に上品になつて來たことを悦ぶ。

今年のとの盛況を得た事には又臨港鉄道、常磐交通等の奉仕的進出が重大な役割を擔つていた。案内所や迷い兒取扱所、其の他マイクを通じての世話等は特筆して感謝する

暑中御伺い申上げます

小名濱町役場
町長 水野政次郎
助役 長瀬國三郎
收入役 野崎昇太郎

前衆議院議員
齊藤晃
小名浜町 電三二七

縣会議員
土木副委員長
小野義一
小名浜町 電六

小名濱地區警察署
署長 鈴木龍之助
外署員一同

小名濱町議會
議長 長瀬彰義
副議長 馬上喜一
比佐政種 飯田宗秋
小林仁一郎 鈴木イセ
松原文吾 小野務平
高木嘉一郎 小野直千賀
木村祐 小松勇吉
箱崎滝三郎 立花秀吉
野崎貞行 木田谷平
齋藤誠吾 飯塚新四郎
金澤勉 藤社大一
西丸猛 林林平
菅原勳 長瀬啓一
飯塚勝 橋本佐多壽

小名濱町內校長會
第一小学校長 高木長年
第二小学校長 増子銀二
第三小學校長 小松藤次郎
第一中学校長 鈴木孝雄
第二中学校長 佐藤瑞枝
縣水產高校長 安達新
小名浜高校長 大竹貞治

小名濱消防署
署長 御代龜太郎
次長 田中勝榮
外署員一同

小名濱町消防團
団長 志賀要平
副団長 樋口二郎
外團員一同

味噌醤油醸造元
綿屋商店
志賀要平
小名浜町 電二九

小名濱齒科醫師班

小名濱郵便局
局長 佐藤幸助
庶務課長 遠藤武三
保險課長 金成定三
郵便課長 猪股峯二

銘酒養老醸造元
草野道人
電話六二番

小野ミルクブランド
小野禮一
電話六三番

長瀬印刷株式會社
社長 長瀬芳郎
外社員一同
小名浜町 電二一九・三八七

日星製作所
所長 中崎馨
小名浜町林ノ上
電256・257

アイスクリーム
アイスマンジユウ
松田屋
小名濱町中島
電話四二番

日本水素工業株式會社
取締役社長 荘野精二郎
本社工場 福島縣小名浜町
工場長 大場閑雄
TEL501・505・119

小名濱町旅館組合
萬里荘
福田屋
南海館
むさし屋
ハトバ荘
吉田屋
錦盛館
新米館
なると館
玉屋
若葉館
諏訪館
山大
啓浜館

夏の常備薬
東寶完腸
マルヰ薬房
小名浜町西町
電話一一五番

佐川精肉店
小名浜町上横町
電六四六

健康は早い手当と良い薬
長生堂薬局
小名浜町中島
電話三七〇番

鈴木寫眞館
電話一八番

夏の買物は是非當店へ
小野屋呉服店
小名浜町上横町
電五八一

長瀬自動車整備工場
長瀬祐信
小名濱町渚廻り
電（呼）二一九

化粧品専門店
アメリカヤ
小名浜第一小前

夏の榮養は肉食より
丸八精肉店
小名浜町本町
電話一一七番

本田葬祭具店
西町心光寺前
屋號 とんか

北洋漁業の將來はカムチヤツカ海域

石井天洋丸船長の言

北洋漁業船團（日本水産）に參加好成績を上げた本縣獨航船小名浜港第三天洋丸外三船は六日北海道函館を出航途中宮城縣鹽釜港に寄港して八日正午各々の母港に無事歸港した

同船らは去る四月二十四日母港を出航、五月十日函館をたつてアッツ、キスカ島附近の東經百七十八度乃至百六十四度、北緯五十一度の漁場に於いて七月二十八日まで操業した、氣候は内地の二、三月頃の陽氣で時折降雪もあり、氣温は最初は二三度ぐらいであつたが切揚げ近くには十度まで上昇したが、操業期間中は余り天候には惠まれず、六月下旬よりは濃霧のため相當なやまされた、大洋漁業船團中には行方不明一隻を出した程であつた、任務をおえた第三天洋の小林船長は次のように語つた

今回はテストのつもりだつたが漁獲は予定の線を上廻り日本水産（十隻）だけで金額一億七千万圓の好成績だつた、時期を八月下旬頃切上げる樣に行くならば自信をもつて今回の倍以上の成果をおさめることが出來る、網も母船で使用している十七番（四寸≀四寸）に改良しなければならないと思つた、唯望む處はカムチヤツカであるアッツ、キスカ島などは問題にならぬと思う一日も早くソ連と漁業協定を結ぶよう望みたい

片濱（軟式）野球大會

小名濱豫選始まる

恒例武藤玩具店杯爭奪片浜軟式野球大会は來る三十、三十一日の二日間小名浜、泉、江名、中之作、豊間の參加八チームに依つて小名浜第一中学校々庭に於いて擧行されるがこれに先立ち小名浜地區豫選は本十日を皮切りに十五、十六、十七の四日間一中校庭で參加六チームにより總當りリーグ戰によつて行われるが、第四位までが出場出來る八日夜公民館に於て行われた主將会議には、名門港（舊シルバー）クラブが遂に姿を見せずいさゝか淋しいが代つて新鋭古港クラブが參加することになつて熱戰が期待される參加チームは臨港鐵道、古港クラブ、磐洋、薫会、新光、須賀町六チームであり、本十日行われる第一回戰の組合せは次の通り

古港クラブ―須賀町
薫 会―新 光
臨港鉄道―磐 洋

なお試合開始は毎日第一試合九時、第二試合十一時、第三試合一時、第四試合三時となつて居り三十分以上遲參したチームは棄權とみなす

また雨天其の他の關係で試合不能となつた場合はその日の試合は後日に廻し豫定のスケジユールにより行うことになつている

平養老園落成

入園は四十八名

平市外上荒川に工費四百四十萬円にて完成した平養老園の落成式は十八日午前十時から、地元代議士、縣議、浜三郡の各町村長市議二百余名が參集の上行われる、つゞいて二十一日入所式が擧げられ、浜三郡から二十八名と平市内の二十名の入園者が老いの樂園としての明け暮れを送ることゝなつた

地區製氷の採用者決る

小名浜漁業協同組合製氷冷凍工場を從業員採用試驗は七月三十日行われたがその合格者を八日次の通り發表した

薗谷信一、志賀季敏、馬上務、小磯義、星登田、佐川武雄、吉田正男、中山安太郎、高木勝太郎、熊坂浩二、小野兵吉、松原清次郎

勿來自勞組の手當解決

（既報）盆手當の要求を巡つて無言のハンストを續行中の勿來自由勞組代表十二名は八日午后六時町側の招きにより役場に於いて青天目町長と會見交渉を行つた結果町側としても郡下町村長会の調整による八百円（縣四百圓、町四百圓）の線を色をつけるということで一應組合では町側の提示案を呑むことになり三日に渡つて行われたハンストも無事に解決をみた

炭礦野球の豫選（平）

東部石炭協会、磐炭勞、日鑛常連主催の第六回炭礦野球東部地方予選大會は本十日から二日間市營球場平工、平商、の三球場で二十八チーム參加の上行われ、二十五日から四日間後樂園に開催される全國大會の出場チームを決定する

高山社宅に赤痢發生

小名浜町高山日本水素小名浜社宅居住加倉井次雄（三）ちやんは七日眞性赤痢、また同高山淺貝美津江（一）ちやんは八日疑似疫痢と判りそれぞれ隔離された

天氣豫報 10

（本日）南寄の風晴時々曇りの天氣で朝夕は雲が多いが日中は割合よい天氣となりむし暑く夕立がありましよう

（海上）次第におだやかになりましよう

童話 梵天國 ⑧

佐藤森美
高萩精玄

七

姫君のお話は續きます。

「今日から七日の間、身を清めて、七回水どりをおとりなさい。その上で愛宕の山にお登りになつてごらんになると、西北の方へ行く細い道がございます。それを七里ほどおいでなさいますと、大きな木が一本ございます。その木の下には三匹の馬がつながれております。そのうちで一番やせている馬を引いて歸つていらつしやい。」

とおつしやいましたので中納言はその通りになされて、行つて見ますと姫君の話のように六つの道がございました。そのうち西北への道を七里ほど歩いて行きますと大きな木がありました。その根本に葦毛の馬、鹿毛の馬、月毛の馬の三匹がおります。そのうちで葦毛の馬が一番やせておりましたので、それを引いてお邸にお歸りになり姫君の御覽にいれました。

姫君は大變お喜びなさいましたが、また心配そうに、

「マグサがなくてどうしましよう。」

とおつしやいますので、

「一体どのようなマグサが入り要なのでしようか。」

とおたずねになりましたすると姫君は「黄金三千兩必要なのでございますが。」

とお答えなさいました。

中納言は、

「それはいとたやすいこと。」

とおつしやつて、北の倉に入つている大層色の良い黄金を三千兩おとりだしになりました。そして又、大豆三石一斗を煮させて、この馬に食べさせなさいました。

葦毛の馬はさもおいしそうにこれを食べ終つて、水を飲み、三度身震いをして立ち上つた姿を見ますと、驚いたことには世にもくらべものがないような立派な馬に變つていました。姫君は、

「この馬にお乘りになつて、明日午前六時に東の方へ向つて御出發なさいませ。しばらくたつてとの馬が身震いをして足をおよがせ始めたら、兩の目をかたく閉じなさい。途中で目をお開きになつてはいけません。絶對に目をお開きになつてはいけませんよ。この馬が何處かにたどりついて身震いした時静かに目を開いてごらんなさい。」

と細々とお教え下さいましたので、中納言はそのお教えのように、お目を強く閉じられて、鞭をしとゝ加えられると、馬は勢よく大空におどり上りました。

中納言はお姫さまのお教えをお守りになつて途中で目をお開きにはなりませんでした。しばらくすると、陸地と思われるような所に到着いたしました。馬は三度身震いをしました。中納言は静かに兩の目をお開きになつて、まわりをごらんになりました。あたり一面は、麗々とした沙漠のような所でありました。すると馬は、丁度私達ならお別れのあいさつをする時の樣に、三度いなゝいて、再び大空に飛び立ちました。中納言はたゞ一人この見知らぬ世界のかた隅に立ちつくしておりました。

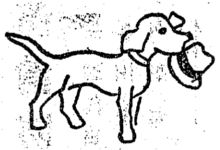
◆袋田温泉御招待◆
7日ヨリ13日マデ
中元大賣出し
毎日特價品大量提供
小名浜 藤越

平全市連合福引中元大賣出し參加
御位牌 法名書入れ無料サービス
御佛具各種
御佛壇各種 大特賣中
平指定商チケット券御利用下さい
家具専門店 伊東家具店
營業所 平市新川町電四六四
製作工場 平市大町二九一三〇

休電のお知らせ
毎度有難う御座います
扨て小名浜変電所の機器故障修理のため左記の通り休電致します。
記
日時 八月十二日（火） 自午前七時十五分 至午后五時
區域 小名浜電業所全區域
福島縣石城郡小名浜町
東北電力株式會社 小名濱電業所

最新流行の履物類
在庫品の豊富なこと！
價の安いことは！
お客本位の
西町の ヨドヤ履物店

郷土の新聞
磐城日日



経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい
御子様へ御菓子
動物ヨーチエン 百匁60円
カルケツト 百匁70圓
學生さんへ
上質ノート 12枚 5円
上質大学ノート15圓より
野球帽55円より110円
御嬢さん奥様へ
夏は木綿高級新柄服地入荷
白生地ヤール60円 各種
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ 80圓
花王洗濯石鹸徳用型10円
御勤の皆様へ
開衿190円より800円
皮底サンダル460円より
男女雨靴650圓より各種
白ゴメ底300圓330圓
小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

内科 外科 整形外科
竹林病院
院長 竹林貞吉
醫師 中川増二郎
〃 永山徳治
藥劑士 小關寛子
レントゲン技師 永山洋三
マッサージ技師 影山松雄
事務長 増子重恒
根本
平市十五丁目十三番地
電話八二一・六〇八番

パーマと美顔は……
小名浜町 本田美容室へ

▽新装開店△
新装のため永らく御不自由をおかけ致しましたがこの度開店いたしました
平の食堂デパートとしてどなたさまにもキット御満足が頂けます
どうぞお氣輕にお出掛下さい
食堂デパート
和洋食 壽司 中華料理 冷菓
不二屋
平市中央通り（世界館角）
電話八八六番
出前多少に不拘迅速配達致します